

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	2712	
平成18年度部名	経済部	課名	商業サービス業課	課長名	加藤一嘉	
平成19年度部名	経済部	課名	商業サービス業課	課長名	沖津茂寿	
事務事業名	西門地区商業地再生事業					
予算上の事務事業名	買物公園道路利活用推進事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31420	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第4節 商業・サービス業の振興					
施策名	第2施策 にぎわいのある商店街づくりの支援					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	商業地再生緊急対策事業（西門地区）					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	西門地区商業地再生計画			店舗数、年間販売額、来街者通行量とも減少している西門地区において、地元商業者や地域住民と賑わいと活気ある街への再生を目指して策定したものの		
計画年次	18	年度～	22			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼			5 事業開始年度	昭和63年以前 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
地元商業者・地域住民が連携し、「地域の顔」「くらしの広場」である買物公園道路の利活用を推進することで賑わいを産み出し、西門地区商業地としての魅力向上と活性化を促す				<ul style="list-style-type: none"> ・地元商業者 ・地域住民 ・買物客 		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・買物公園道路の有効活用および賑わい創出のため、10～11月に国土交通省社会実験を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 10月 歩行者及び自転車の分離による安全性向上と溜まり広場の確保・活用によるにぎわい創出実験 11月 路上駐車帯の利用形態改善によるにぎわい創出実験 1月 社会実験報告書とりまとめ ・買物公園道路を安全、安心に利用できるよう、通年による維持管理や補修を実施した。 						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省社会実験として、平成18年度に41地域（横浜市、新潟市など）が道路空間や賑わい創出の実験を実施した ・旭川市が昭和47年に整備した買物公園道路については平成10年に再整備を実施している 						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	3,961	6,377	12,289	7,929	7,929	
一般財源	3,961	6,377	5,289	7,929	7,929	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	7,000	0	0	
人件費の合計	807	805	805	805	805	
事業コスト合計	4,768	7,182	13,094	8,734	8,734	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	ステップアップ事業（イベント実施日数）			対象名称 と単位	補助金（円）	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	250,000	500,000	500,000	
対象数	0	0	2	2	2	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	125,000	250,000	250,000	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	2.00	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	イベント集客数（人）	指標式と指標の説明	イベントによる集客数により、イベント活動の成果を見る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	8,000.0		
目標	0.0	0.0	8,000.0	10,000.0	10,000.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	西門地区における平均通行量（人）	指標式と指標の説明	西門地区の賑わいを総合的に図る指標として「通行量」を設定（8～20時の通行者について、平日・休日の平均を算出）		
	平成8年度	平成11年度	平成15年度	平成19年度	平成23年度
実績	6053.0	4706.0	3474.0		
目標	-	-	-	4500.0	6000.0
目標達成度（%）	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		今回のイベント事業では2日間のものであり、それがすぐに日常の賑わいを取り戻すには至っていないため、イベント規模の拡充やそれ以外の各種事業を地元商業者や地域住民主体で実施できるよう、更に充実させる必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
イベント事業を増やすことに加え、空き店舗対策などの各ソフト事業にも取り組むことで、賑わいの連続性を産み出すようにする。			イベントにより集客が増加しても、各店の売り上げにはあまり貢献されていなかった。また、イベントは一時的なものであり、日常の賑わいを取り戻すまでには至らない。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		イベントの実施にあたっては、商店街の集客につながるよう、各店のPR等に努めるとともに、実施効果の検証を行うこと。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			